

—21世紀への共創—

NAGASAKI YOUNG

GENERATION
ASSOCIATION



Challenger
Ises

社団法人 長崎青年協会

発行●(社)長崎青年協会 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階
会長 伊藤克樹 編集●広報委員長 吉田浩文

8
1999

寄与する事を目的とする	もつて地域社会の発展に	会員の親睦を図り	自己の建設と	我々は会員の団結と	相互扶助の精神の基に	長崎青年協会憲章
-------------	-------------	----------	--------	-----------	------------	----------



伊藤会長

先日、長崎市の文化国際課のお誘いで「地球市民の集い」に参加してまいりました。そこで、アメリカにおけるボランティアに参加する為の三つの条件という話を聞きました。

それは、「時間のゆとり」「お金のゆとり」、そしてもうひとつは、「心のゆとり」です。我々青年協会のメンバーにとりましては、

忙しい毎日の中で何とか時間をつくり、きびしい経済状態の中でお金のやりくりに苦労しているのが実状だと思いますが、私がその中で大切だと感じたのは「心のゆとり」です。「心のゆとり」をもつことで、皆さんの仕事においても、青年協会の活動においても、広い視野でのごとを見ることができ、冷静な判断が出来るようになると思います。

ところで本日は、長崎県移植コーディネーターの西田裕子さんに、「日本の移植事情」についてお話ししていただきます。西田さんは、日本で初めて行われた脳死腎移植の際に、伊丹空港で臓器を待ち受け、大阪から長崎までの臓器輸送に実際に携われた方です。脳死や脳死移植については、これまで家族で話し合ったりしていることだと思いますが、このような重要な問題は、やはり「心のゆとり」をもって考えることが大切だと思います。その為にも本日は、西田さんから臓器移植について学びたいと思いますので、皆さんの御静聴を宜しくお願ひ致します。

7月例会開催



平成11年7月21日 ホテルニュー長崎に於いて7月例会が開催された。

今回は4月号広報誌“話題にダブルクリック”でも特集しました「日本の移植事情」について、移植コーディネーター 西田 裕子様をお迎えして講演が行われた。

例会会場テーブルには、実際にドナーカードが配られ、初めて目にする方もいる中、始まった。「まだまだ、移植に対する意識は低くドナーカードの所持率も2%であること」「骨髄移植について」「臓器移植の実情」「欧米との比較」「脳死について」と前半は資料を手にしながらの説明があつた。後半は、今年2月28日に行われた日本で初めての生体間移植で腎臓を高知一大阪一博多一大村（国立病院）へ運ばれた実体験。そして、臓器の提供を受けた長崎の女性がドナー（提供者）のご家族に送った御礼状も読まれた。「頂いた腎臓を気遣いながら大切に生きていきます。」と命のリレーが実際に行われたことを実感させられる内容だった。

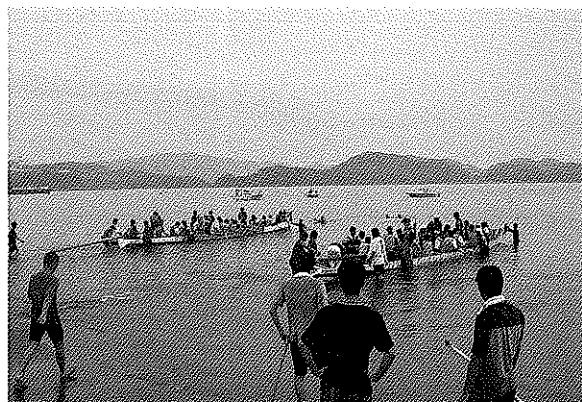
質疑応答の中で、「脳死判定の情報開示と提供者のプライバシーの保護について」の説明があり、「正確な脳死判定の実施。どこまで開示すべきなのか明確な線引きが必要で、マニュアルを整備する必要があり今後の課題である。」と問題点も述べられた。会員からは、たくさんの質問があり、移植に関する関心の高まり、意識の改革を感じられた。

最後に「現代は、自己責任・自己選択になってきています。ガン告知も本人の意思を尊重優先します。そのためには、まず何でも意思表示をすべきではないでしょうか。」との問い合わせで締めくくられた。

留学生と市民の集い／ペーロン体験

7月11日(日)午前8時頃、バスが待つ集合場所では、梅雨の雨がシトシトと降りしきる中、参加者の集まりが悪いのではないかと心配をしていたが、集合時間になると次々と参加者が集まってきた。ほっとひと安心しながら、参加者を乗せたバスは長崎総合科学大学へと向かった。今年度2回を予定している「留学生と市民の集い」の1回目は、長崎の伝統文化であるペーロンの体験である。参加者全員の「雨よ止んでくれ！」の願いも届かず、雨が降る中、開会の挨拶や準備運動が行われ、いよいよペーロンへ乗り込むことになった。

留学生と市民の皆さんを4班に分け、最初はA班とB班、続いてC班D班が、総科大ペーロン部の指導のもと、練習を行なった。防波堤から見ていると櫂があまり揃っていない班や見事に揃っている班もあり、それぞれに初めてのペーロン体験を楽しんでいるようだった。4班の練習後、総科大ペーロン部による模範航行があり、「さすが、本物は速さ～!!」と見学者からは感嘆の言葉が聞こえ「あんがんやってこがんば。」と熱心に見入るチームもあった。その後、いよいよ対抗レースが行われ、A班とB班、C班と



D班が、それぞれに練習の成果を発揮しながら一生懸命櫂を漕いでいた。

ペーロンに乗船した人からは、「楽しかった」とか「もう一度乗りたい」といった意見が多く、雨と海水で洋服を濡らしながらも滅多に経験できない「ペーロン」を、十分に楽しむことができたと思う。

時間もお昼になり、場所を総科大の中に移動して、交流パーティーとなった。午前中のペーロン体験で体力を使い、お腹も空いていたので、みなさんおいしそうに料理を食べていた。しばらくしてお楽しみのbingo大会がはじまったが、bingoが、初めての留学生も多く、説明しながらのbingo大会となった。数字が読み上げられるたびに会場内から「リーチ」「bingo～」の声が大きく聞こえ、終始にぎやなか懇親会だった。

市民の方も中学生からご年輩のかたまで幅広く参加していただき、留学生と市民のみなさんとの「国際交流の場」として楽しいひとときが過ごせたと思う。

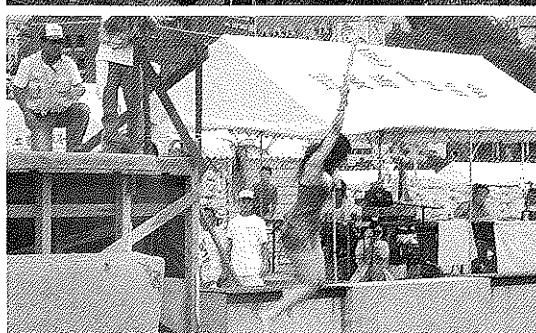
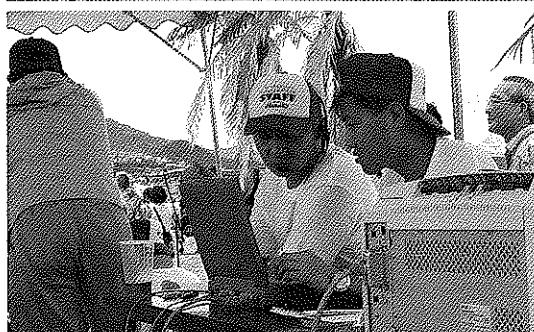
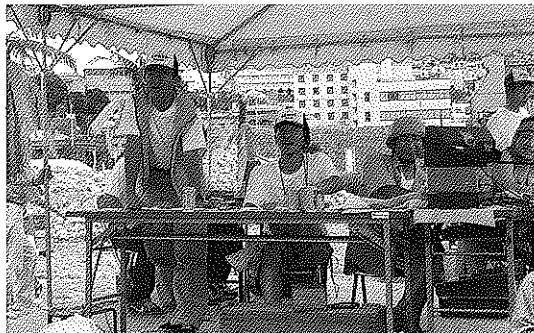
雨の中、大変でしたが、企画委員会の皆様、お疲れさまでした。

ターザンV in ながさきみなとまつり

8月1日(日) 今年は、台風の影響もなくなんとか晴れ曇りの天気の中、常盤緑地にて「The ターザンV 海上パフォーマンスジャンプ in 長崎港」が行われた。朝早くから設営、準備、打ち合わせと進み、受付開始時刻になると出場者も続々と集まってきた。開会式は、デジマール君(再登場!!)の総合司会のもと、伊藤会長挨拶、来賓挨拶、審査員紹介と続き、いよいよ競技の開始となった。「歴史ある長崎港へ飛び込もう!」を合い言葉に、女装あり、ハレー彗星あり、覆面プロレスラーあり、親子ペアあり、アニメ系ありと、参加者も個性あふれるコスチュームでの登場となった。

審査は、騒音測定器による大声コンテストとターザンの得点による2段階方式により採点され、ロープにぶらさがり長崎港に飛び込むターザンジャンプでは、各選手とも工夫を凝らした、いろいろな飛び型、落ち型があり、観客席となつた「飛帆」からは、笑いと歓声が起つっていた。

閉会式では、15位のチームから優勝チームまで次々と発表され、優勝者は、「なんちゃってナイスバディ」の女性お友達ペアが、大声での得点のビハインドを物ともせず、2人とも衣装、インパクト度で高得点





の34組から、キャンセルを含め23組と若干少なくなったこと。また、常盤緑地が、工事中だったため、ターザンの場所がメイン会場から離れていたことは、非常に残念である。

しかし、特別事業委員会の阿比留委員長、寺本副委員長を筆頭に委員会の皆様、多くの会員の皆様、本当に疲れさまでした。

を連発。「東京ディズニーランド2泊3日ペア旅行券」を獲得した。また、観客による優勝者宛てクイズも行われ、4人の当選者も発表された。

今回は、68歳の最高年齢の方から3人の個人参加者まで幅広い出場者があったが、当初予定

～ペーロン選手権・チーム一丸の力走～

7月24日（土）ながさきみなとまつりのオープニングを飾る「長崎ペーロン選手権・職域対抗レース」に長崎青年協会チームが参加。あいにくの雨模様の中、午前10時からの予選第1レースに登場。練習の成果を見せようと張り切ったが、なかなか船は進まず横波にも負け、出走6チームの内、7分20秒67のタイムで残念ながら最下位に終わった。これではイカンと、午後からの敗者復活に懸ける協会チームは、昼ご飯を早めに切り上げスタートまでの時間を練習に費やした。そして、敗者復活第2レース。今度こそはと気合を入れ、スタート。全員の櫂が揃ったのか、スタートダッシュよくいい調子!!そのまま全員が櫂を力強くこぎ、スピードにのったままゴール。タイムは、青年協会チーム最高の6分18秒64の好成績で、エントリー5チームのうち3位に入り、「よくやった」の健闘を讃える声。残念ながら決勝には進めなかったが、ペーロンチームをひとつにまとめ上げた西崎君に感謝!!



“話題にダブルクリックVOL.4”(ニュースな言葉)

『男女雇用機会均等法』

今回は今年4月より改正・施行となりました「男女雇用機会均等法」にダブルクリックしてみました。

この法律は女性と男性を区別し取り扱うことを禁止したものであり、女性の労働条件や雇用環境に大きな変化を及ぼすものと考えられます。一番皆様にとっても身近で話題にもなっている俗に言う『セクハラ』…「女性労働者への就業に関する配慮すべき措置」について説明します。

■セクシャルハラスメントの関する事項の新設

事業主は職場での性的言動に起因する問題（セクシャルハラスメント）に関して雇用管理上必要な配慮をしなければならない。（21条）

職場におけるセクシャルハラスメントは、女性労働者的人間としての尊厳を不當に傷つけるだけではなく、企業にとってもその損失は図りません。

指針ではセクハラ防止のための事業主の配慮義務等について定めています。

職場でのセクシャルハラスメントとは？

(対価型セクハラ)

職場に於いて行われる性的言動（性的発言・性的強要など）に対する女性の対応により労働条件について不利益を受けること。

対価型 例)

- 昇進を引き換えに性的関係を迫る。
- 上司の日常的性的発言を注意したら、契約更新されなかった。



(環境型セクハラ)

性的言動によって就業環境が害されること。



環境型 例)

- 何かにつけ髪や肩を触られ苦痛。胸や腰をじっと見られ不快。
- 顔を合わせると性的経験・容姿、肉体に関する話を聞かれ、不快。
- 性的にふしだらという噂を流されていたたまれない。

また、放置すればセクハラになりかねないグレーゾーンについても事業主は配慮する必要があります。

グレーゾーンの例)

- 任意参加の酒席において、デュエットやお酒のお酌を強要する。
- 職場で顔を合わせる度に子供はまだかと尋ねる。
- 年令・立場に関係なく「女の子」という扱いをする。
- 私的な買い物を女性労働者だけに頼む。



改正均等法では、男女が同一の労働条件で働く枠組みを整理し、意欲や能力のある女性が、性により区別することを明確に禁止したこと、法の実効性を高いものにしています。今回の改正では、働く女性が性により差別されずその能力を十分に発揮できる雇用環境の整備を目指しています。職場で、家庭で、地域で女性のみならず男性にとっても、今までの労働觀、生活觀を根底からとらえ直す時がきているのではないでしょうか。

お父さんの通知表

第5回目は、研修委員会の原田文忠君の長男兼臣（けんしん）くん・11歳と次男築（きずく）くん・5歳のお二人から見たお父さんを採点してもらいました。

「パパについて5点評価で正直に答えてね!!」

	質問	兼臣くん	築くん	理由
Q 1	一緒に遊んでくれますか？	2	3	全然遊んでくれない。休みの日だけ釣りとかに連れていくつてくれる
Q 2	家族のみんなにやさしいですか？	4	5	なんとなく。怒られるほどいっしょにいる時間がない
Q 3	勉強を教えてくれますか？	?	5	聞きにいかない。お母さんに聞く
Q 4	カッコイイですか？	1	5	仕事がダサイ!!
Q 5	よくお話をしますか？	2	5	質問とかはする
Q 6	お酒、タバコを飲み過ぎませんか？	1	3	タバコ吸いすぎ！ タバコ大嫌い!!
Q 7	家の手伝いをしますか？	2	5	あまり手伝いはしない
Q 8	相談にのってくれますか？	1	5	相談したことがない
Q 9	明るく楽しいですか？	2	5	楽しくない。テレビばっかり見ていい
Q 10	ママと仲がいいですか？	4	5	お母さんに聞いてください
総得点		19	46	2人の平均は3.8点です。
平均点		2.1	4.6	ちょっと厳しいかな？!

(注) Q 3 の兼臣君の点数は、勉強を教えてもらいたいにいかないので、「?」になりました。平均点は、総得点を9で割っています。

原田ファミリーは、奥様真理さん、長男兼臣くん、次男築くん、の4人家族です。

兼臣くんは、算数と理科と体育が得意な山里小5年生で、サッカー部に所属しています。その兼臣くん、「絶対5点は、やらないぞ」の言葉どおり最高4点が2回と、お父さんに対してかなり厳しい得点になってしまいました。お二人の得点に対して原田君曰く「僕は、子育てに参加していない。奥様に大変ご迷惑をお掛けしております。日曜日だけ協力させていただいております。」との反省の弁も聞かれました。



お父さんに対して、お願ひごとがありますか？の質問には、「タバコとお酒をやめてほしい」との答えに、原田君も冷や汗ものでした。

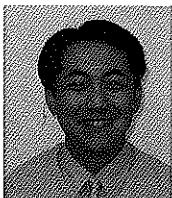
最後に、お父さんからお二人に一言「元気で酒もタバコも飲まず、自分の思ったことを一途に突き進んでもらいたい」のメッセージを書き添えておきます。

左から 原田 文忠君
次男 築くん
長男 兼臣くん
奥様 真理さん

新人紹介

～ようこそ長崎青年協会へ～

配属：広報委員会



氏名：山口健太郎君
生年月日：昭和47年10月4日
血液型：A型
勤務先：食楽酒房 くし天
趣味：ゴルフ
ニックネーム：ケンちゃん

ご結婚おめでとうございます

鶴長達真様、和子様

平成11年7月20日 入籍

一言「海の日に
長崎市役
所守衛室
に、さび
しく届け
てきました」



委員会出席賞獲得までの道

7月例会

	企画推進室	総務	例会	広報	交流	研修	会員開発	地域事業	特別事業	地域社会	企画	役員
例会出席者数	2	4	6	3	2	3	4	7	6	4	4	11
委員会総数	4	7	8	7	7	8	6	9	8	8	7	12
出席率(%)	50%	57%	75%	43%	29%	38%	67%	78%	75%	50%	57%	92%

◀ 同好会だより ▶

◎ゴルフ同好会報告

第2回 伊藤会長杯ゴルフコンペ決行！

去る7月22日、長崎空港カントリー倶楽部にて「第2回伊藤会長杯ゴルフコンペ」を執り行いました。時折降る雨にもめげず参加の皆さんにはタイガーウッズの如く果敢にカップを攻めましたが、大きな思い違いに気付いた時には、既にコースアウトでした。結果は次の通りです。

優勝

岡田康信OB（ネット71）

準優勝

田川俊幸君（ネット78）

次回第3回会長杯は、9月頃を予定しますので、たくさんのエントリーをお待ち申し上げます。

By（幹事）岸本

表紙のご紹介（下段は勤務先）（昭和37年度&昭和44年度）

阿比留正治君 (有)あびる酒店 S 37.6.3 (O)	田川 清浩君 (有)宝将レストランメイジヤ S 37.6.22 (A)	寺本 正弘君 (株)平安閣 S 37.9.17 (O)
井手 清治君 (有)山 幸 S 37.12.23 (AB)	一ノ瀬敦朗君 ラ・ピエス S 38.3.4 (AB)	八尾 順二君 (株)ケンコー S 44.5.13 (A)
麓 浩二君 丸協保険サービス S 44.9.15 (A)	末石 順君 ソニー生命保険長崎支社 S 44.12.31 (A)	室谷 康二君 三菱重工(株)長崎造船所 S 44.6.3 (A)

編・集・後・記

1999年7の月があつという間に過ぎ去り、8月1日のイベント「ターザンV」が無事に終わって本当によかった。飛帆クルーズに参加したが、たくさんの方々に乗船していただき、とてもありがとうございました。「もったいない」との声や「今度はいつ運航するんですか」との問い合わせもあったが、もし、どこかで「飛帆」にもう一度乗れるチャンスがあれば、うれしいと思う。最後に、参加はできませんでしたが、「ペーロン」影ながら応援していました。お疲れさまでした。